

教科名	発行者	教科書名
国語	光村図書出版（株）	小学校 国語

### 上記発行者の教科書を選定した理由

#### （1）取り上げている教材の良さ

- ・各学年の発達段階に合った内容と分量の教材が掲載されている。また、伝統的文学や物語、短歌や詩、漢字辞典の使い方など、多様な表現形態を学ぶことができるよう配慮されている。
- ・それぞれの教材を扱う時期が年間を通してバランスよく、それぞれの季節に適した教材配置となっている。また、社会科や総合に活用できるような単元構成になっている。
- ・読み応えがあり思慮の深まりが期待できる物語文が各学年に配置されている。また、現代の子どもたちの生活に関わる身近な題材も取り上げられていて、興味関心をひく。

#### （2）教科書の構成の良さ

- ・単元の終末で「（考えたことを）伝え合う」ことを大事に位置づけられている。ねらいに迫る活動が多く提示されているので、児童の実態に合わせてその単元の展開を決めだし、系統的に指導を組み立てることができる。
- ・話す聞く・書く・読むを関連づけた単元が位置づけられていて、多様な言語活動を通して生活と結びつけて語彙を豊かにしたり言語感覚を磨く学習を設定することができる。
- ・単元のねらいが冒頭で具体的に示され、最後には振り返りの観点も示されているので自己評価しやすい。
- ・同一作者の図書紹介や関連図書の紹介が教材文のあとに配置されていて、読書指導につなげやすい。

#### （3）児童の関心意欲を高める工夫の良さ

- ・挿絵・写真・図が大きくハッキリしていて色も良い。それらと文章内容との対応が明確で、児童の理解や思考の深まりのために大変有効である。特に、季節の言葉に鮮やかな写真が添えられていて、イメージと言葉を結び付けて語彙を増やしていくことができるように配慮されている。

## I 調査表 小学校 [国語]

採択基準	観 点	出版社					
		光村図書	学校図書	東京書籍	教育出版		
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するためには必要な内容が的確にもらっているか。	◎	◎	◎	◎		
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 文章の長さ、分量、難易の程度が、児童の発達段階に応じるよう配慮されているか。	◎	○	◎	◎		
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(2) 学習への関心・意欲を喚起し、児童の発達の段階に即して適切な話題を取り上げたり、話や文章の種類などを調和的に扱ったりするなど、教材選定への配慮がされているか。	◎	○	◎	○		
	(3) 児童の言語活動を踏まえて、主体的・対話的な学習を促すよう工夫がされているか。	◎	◎	◎	○		
	(4) 文字の大きさ、字体、行間、字間は学年発達に応じて配慮がされているか。	◎	◎	◎	○		
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、さし絵、図表、写真、配色等が鮮明で、理解を助け、思考力や想像力を高めるよう配慮されているか。	◎	◎	◎	○		
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 単元の配列が、児童の言語生活や系統的な指導に照らして適切か。	◎	○	◎	○		
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2) 単元相互の関連性や連続性が、有効に図られているか。	◎	○	◎	○		
	(3) 主体的に取り組みながら言葉による見方・考え方を働きさせ、相互に関わり合いながら各領域の言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	◎	○	◎	○		
	(4) 「知能及び技能」が、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」と関連をもち、系統化されているか。	◎	○	◎	○		
	(5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう配慮されているか。	◎	○	◎	○		
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	○	◎	○		
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	◎	○		

II 適当と認めた理由 小学校 [ 国語 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも国語の基礎的基本的な力が習得されるよう系統的に単元が構成されている。</li> <li>活用する力、伝え合う力を高める学習の単元が系統的に配列されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも学年の発達段階に応じた教材が選定されている。</li> <li>1年の導入では、絵が豊富で文字が読めない児童も意欲的に取り組めるように工夫されている。(光村・学図・教出)</li> <li>説明文の文章が長い。構成が難しい。(学図)</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自分の生活と重ねながら登場人物の人情を考えられる教材が多い。</li> <li>関連図書の紹介と、読書単元があり、紹介図書が豊富。(光村)</li> <li>比べる思考を使って学習する単元が系統的に配置されている。(東書)</li> <li>聞く話すの話題が、子どもたちの興味関心や実態と離れた題材が見られる。(学図)</li> <li>話す・聞くの単元が読む書くの単元と自然な流れで組み合わされている。(教出)</li> <li>各社とも音韻の学習において拍が提示されていて理解しやすい。</li> <li>単元のはじめの扉に興味をひくメッセージがあり、楽しく読む配慮がある。(教出・光村)</li> <li>QRコードが最も多く掲載されていて、音声や視覚による支援が配慮されている。(光村)</li> </ul>
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社ともに単元のねらいが示されている。また、「書く」・「話す聞く」の単元では、学習の進め方や見通しが具体的に示されている。</li> <li>「読む」単元の「見通しをもとう」の内容が豊富。児童の実態に合わせて多様な学習が展開できるが、内容を絞り込む必要もある。(光村)</li> <li>下に学習のヒントが多く書いてあり、必要な子には支援になる一方、着目したい叙述を探す必要がなくなってしまう心配もある。(教出)</li> <li>巻末の既習漢字が、音読み、訓読み両方で掲載されているため、読み方が分かっている時には調べやすい。(東書)</li> <li>巻末の既習漢字が音読みで掲載されているので、一つ漢字を調べると異なる読み方や使い方も知ることができる。(光村・学図・教出)</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社とも見やすい字の大きさ・字体である。</li> <li>高学年になるとやや業間が狭い。(東書)</li> <li>他社に比べて書体が太く見やすい(光村・学書)</li> </ul>
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社とも効果的な挿絵・図表・写真を入れている。見開きのページで文字だけにならないように工夫されている。</li> <li>他社に比べて色合いが落ち着いていて暗い。(東書)</li> <li>挿絵がやや小さいが、物語の時代背景や場面理解の手助けとなるよう多く配置されている。(東書)</li> <li>1年の初めは動物の絵で目次&lt;タグ形式&gt;工夫されていて、数字が読めない児童への配慮がされている。(学図)</li> <li>学習の手がかりを多く示す配慮があるが、やや多すぎて児童が探し出す妨げになることが心配される(教出)</li> </ul>

<p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも前学年で学んだことを巻頭で端的に示し、系統的な指導ができるよう配慮されている。</li> <li>学習した書き方を、社会科や総合の単元で活用できる。 (光村・東書)</li> <li>短めな文章からじっくり読みたい文章へと学年の中でも系統的に配置されている。 (東書)</li> <li>ローマ字学習がパソコン入力までつながっている。 (光村・東書・教出)</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明的文章について第一教材で文章構造を学び、第二教材で学んだことを生かして学習することを通して、繰り返し学び定着を図っている。 (光村・教出)</li> <li>一つの単元の中に、話す聞く・書く・読むが関連づけて位置づけられている。 (光村・教出・学図)</li> <li>「書く」単元が他領域とつながっているので、無理なく学習できる。 (教出・東書)</li> <li>5年「書く」が6単元と多いが、バラエティに富んでいる。 (東書・学図)</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも三領域がバランスよく配置されている。</li> <li>学習したことをもとに「伝え合う」「話し合う」ことを単元の終わりに明確に位置づけている。 (光村・東書)</li> <li>教材文の前に学習のめあてと進め方が示されている。 (東書)</li> <li>話し合いの仕方を丁寧に扱っている。 (光村・東書) 光村は、有効な話し合いの仕方を端的に示していて、東書は方法を考えさせる問い合わせがされている。</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社ともポスター、短歌俳句、意見文など、ねらいに沿った多様な言語活動が配置されている。</li> <li>季節の言葉や伝統的な言語文化に関する内容を、多くの写真と共に系統的に配置している。 (光村)</li> <li>和語・漢語の違いが例を上げて提示されていて興味を引く。 (光村・東書)</li> </ul>
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの資料や書き方の違いを比較検討することができるよう、大きく掲載されている。 (東書・光村)</li> <li>登場人物の心情を想像する学習では、挿絵に人物の表情が描かれていない。 (光村・教出) 学図は表情が分かる挿絵になっている。</li> <li>4年説明文では、挿絵・写真が、説明文の内容理解を補足する役割を果たしている。 (東書)</li> </ul>
	(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも単元の最初と最後に、その単元の目標が明示され、評価の観点が明確になっている。</li> <li>各社とも「振り返り」やまとめを見て確認できるよう工夫されている。</li> <li>書かれている課題項目が多く、課題を絞り込まないと「振り返り」がやや難しい。 (光村)</li> <li>単元の最後に「たいせつ」があり、箇条書きになっていて端的にまとめられていて分かりやすい。 (光村)</li> </ul>
4 全体的な特色	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年で1冊とし、学習の見返しがしやすいが重い。 (光村・東書)</li> <li>目次の後に学年全体の学習が領域ごとに示されていてよい。 (光村・東書)</li> <li>1年上の最初のところだけ、児童がページを見つけやすいよう、動物の絵のインデックスがついている。 (学図)</li> <li>表紙の絵がシンプル。 (東書)</li> <li>光村・東書が全体的に良いが、挿絵の色合い・子どもたちの意識に沿った単元展開が可能のことなど考えると光村か。</li> </ul>

教科名	発行者	教科書名
書写	光村図書出版(株)	小学校 書写

### 上記発行者の教科書を選定した理由

#### (1) 基礎的基本的内容の分かりやすさ

- ・文字を書く時に大事なポイントが端的に書かれていて、適切な情報量になっている。色の工夫とイラストにより視覚的にも分かりやすく示されている。
- ・筆づかいや点画の特徴について、濃淡の墨で示した写真やイラストなどで示され、児童にとって分かりやすい。
- ・何を学習するのかが単元の初めに示され、終わりには「振り返り」の評価欄も設けてあるので、自己評価に取り組むための配慮がされている。

#### (2) 教科書の構成のよさ

- ・発達段階に応じた学習内容の配列になっている。「文字の形や点画の特徴を学ぶ」ことをねらいとした学習の流れで構成されていて、日常生活場面で活用することを大事に位置づけている。
- ・用具の準備の仕方や片付け方等が示され目で見て分かるので、教師にとっても指導しやすく児童にとっても身につきやすい。
- ・手の添え方や縦先、横線の手の動かし方を示すなど、1年の始めの指導が丁寧になされている。

#### (3) 児童の関心・意欲を高める工夫のよさ

- ・筆づかいや点画を墨の濃淡で示した写真が、お手本と同じページに掲載されているので、両方を同時に自分で確認しながら書くことができる。
- ・教科用図書（国語）の学習活動と連携した題材が配置されていて、活用する場を設定しやすい。

I 調査表 小学校 [ 書写 ]

採択基準	観 点	出版社						
		光村図書	学校図書	東京書籍	教育出版	日本文教出版		
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもらられているか。	◎	○	○	○	○		
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) ひらがな、カタカナ、漢字などの配列、字形・分量等は、発達段階に応じているか。  (2) 生活経験に即し、文字に対する興味・関心を高める学習となるよう配慮されているか。  (3) 児童の気づきを大切にし、必要な技能を身に付けられるよう配慮されているか。  (4) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、文字、さし絵、写真、配色、図表、コントラスト等などが鮮明で適切か。	◎	○	○	○	○		
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等		◎	○	○	○	○		
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 点画・筆順・文字の大小、書体などからみて、単元の配列が適切であるか。  (2) 硬筆、毛筆の基礎的な技能が分かりやすく段階的に配列され、学年間の関連が配慮されているか。  (3) 日常生活に役立ち、文字に関わる経験を相互に関わり合いながら、豊かにできる題材など、児童の主体的な学習を育てる題材が配列されているか。  (4) さし絵、写真、図表、参考作品などが、指導に生かせるよう工夫されているか。  (5) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	○	○	○	○		
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価		◎	○	○	○	○		
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○	○	○		

II 適当と認めた理由 小学校 [ 書写 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも書写の目標達成に必要な内容が的確に盛り込まれている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも発達段階に応じた文字の配列・字形・分量である。</li> <li>毛筆の作品数は一番多い。(日文教)</li> <li>毛筆の作品数は少なめ。(東書・学図)</li> <li>巻頭を1字とするなど、配列が易から難となるよう配慮されている。(4年 東書・光村・教出・日文教)</li> <li>発達段階に応じて点画の特徴が焦点的に示されて配列されている。(光村)</li> <li>最初から2文字は児童の実態に合わない。(4年学図)</li> </ul>
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも文字に対する興味・関心を高める内容を配置している。</li> <li>各社とも手紙、原稿用紙の使い方など、生活経験から課題を見つけることができる題材が取り入れられている。</li> <li>毛筆習字の作品づくりではなく、「点画の特徴を見つけ、毛筆で確かめ、そのことを活用する」学習の流れになっている。(東書・光村・日文教)</li> <li>世界の文字を紹介したり、「レッツ トライ」で生活の中で活かすことのできる書く活動がちりばめられている。(教出)</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも児童の気づきを引き出す配慮がされている。</li> <li>学習段階が明示された構成になっていて、見通しや課題をもち。解決に向けて取り組む学習ができるように配慮されている。(学図・教出)</li> <li>仲間と話し合って学習を振り返る学習を配置し、対話的な学びが進められるように配慮されている。(東書)</li> <li>比較できる例を示して児童の気づきを大切にした学習を展開するように配慮されている。(光村・日文教)</li> <li>1年手の添え方が実物大で示されている。(光村・東書・日文教)</li> <li>縦線、横線の手の動かし方が示されている。(光村)</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも文字や挿絵・写真・図表等が鮮明で、配色にも配慮がある。</li> <li>筆先を濃淡の隅で示した写真で示し、視覚的にとらえやすい。</li> <li>色がはっきりしていて見た目で区別がしやすい。(光村・学図・教出)</li> <li>目次が見にくい(学図)</li> <li>説明が多く、情報量の多さを感じる(東書)</li> <li>説明が端的なので、シンプルで見やすい印象を持つ。(光村)</li> </ul>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各社とも点画・筆順・文字の大小・書体などを考慮した単元が適切に配列されている。</li> <li>各社ともに低学年から水書筆を使うことで、筆圧や筆づかいを意識させる工夫がなされている。</li> <li>1年に水書シート付き(東書・光村・教出・日文教)</li> <li>水書シートなし(学図)</li> <li>毛筆習字の文字が、形をとるのが難しいと思われる(学図)</li> </ul>

	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社とも基礎的な技能が段階的に配列されている。</li> <li>・各社とも3年生以上では毛筆で学んだことを硬筆でも活かし、日常生活に役立てていく学習の流れになっている。</li> <li>・点画の書き方が分かりやすく復習できる。（教出・東書）</li> <li>・ひらがなの筆づかいが分かりやすい。（教出）</li> <li>・毛筆の学習が中心になっている。（日文教）</li> </ul>
<p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社とも国語の学習とつなげて、リーフレットづくり、手紙の書き方、原稿用紙の使い方などが掲載されている。</li> <li>・各社とも新聞の書き方、ポスターの書き方、掲示板の書き方など生活の中で活用できる題材が配列されている。</li> </ul>
	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社とも文字や挿絵・写真・図表などが鮮明で見やすい。</li> <li>・各社とも運筆のし方を写真やイラストで効果的に表している。</li> <li>・線の形を動物などの絵の動きで分かりやすく示し、子どもたちが意識しやすい。（光村）</li> <li>・筆づかいを「とん すうつ とん」のように音で表現して示している。（教出）</li> <li>・毛筆の穂先が通った場所を朱墨で示していて、筆づかいが分かりやすい。（光村・東書・日文教・教出）</li> <li>・お手本と同じページに穂先の動きを示す朱墨の文字が載っているため、お手本のページを開きながら穂先の位置を確認できる。（光村）</li> <li>・インデックスがついていて、お手本ページを開きながら、その時間のねらいを確認することができる。（東書）</li> <li>・実物大のお手本が見開きで載っている。（学図）</li> </ul>
	<p>(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社とも自己評価の欄を設け、児童自らが学習の達成を見返すことができるよう配慮。</li> <li>・各社とも「振り返り」の観点が明確になるよう示されている。</li> <li>・各社とも、最後に「振り返り」の観点が書かれており、自己評価につながるよう配慮されている。</li> <li>・学習の振り返りをマークや丸印をつけるようになっている。（光村・教出・日文教）</li> <li>・「振り返って話そう」が振り返りに位置付けられている。（東書）</li> <li>・振り返りで「意識して書く」活動を取り入れている。（学図）</li> <li>・大事なところシールを自分で大事だと感じた点画や筆づかいのところに貼りながら学習できる。（1・2年学図）</li> </ul>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社とも学習内容が見開きのページ内に分かりやすく配置されている。</li> <li>・お手本として1ページ出す場合は、シンプルで穂先の動きが分かる光村が使いやすい。</li> <li>・教科書的（学図・日文）、他社は練習ノートとして書き込みして活用できるようになっている。</li> <li>・文字が大きめで太く読みやすい。（光村・教出）</li> </ul>

教科名	発行者	教科書名
社会	東京書籍(株)	新しい社会

#### 上記発行者の教科書を選定した理由

- ・問題解決的な学習を通して、よりよい社会づくりに参画・貢献しようとする意欲や態度が育てられるように配慮されている。
- ・社会的事象の相互の関連や意味を多角的に考え、選択・判断したことを適切に表現できるよう学習場面の構成が配慮されている。
- ・全小单元の「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動が重視されており、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力等を育てるよう工夫されている。
- ・複数の写真や挿絵等を大きく見開きで並べて提示するなどの割付を工夫することで、資料を比較・関連付ける学習指導の展開に生かせるよう配慮されている。
- ・主教材の代替や比較・関連のために活用できる補助教材が掲載されており、各学校が実態に応じて選択し、適切に指導計画が作成できるよう配慮されている。
- ・自然災害やE S Dなどの社会に見られる課題を具体的に取り上げ、单元展開に位置づけることにより、社会の形成に参画・貢献する資質の基礎を養えるよう配慮されている。

以上により、本書は児童にとって最も適した教科用図書（社会）であると考える。

## I 調査表 小学校 [ 社会 ]

採択基準	観 点	出版社							
		東書	教出	日文					
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するため必要な内容が的確にもらっているか。	◎	◎	◎					
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、コントラスト等	(1) 内容、程度が児童の発達の段階に応じるよう配慮されているか。  (2) 児童の関心・意欲を喚起し、学びの深まりを導く展開への工夫がされているか。  (3) 児童自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう工夫されているか。  (4) 観察や調査・見学などの活動やそれに基づく表現活動を進めることができ、社会的事象に対する見方・考え方を働かせる配慮があるか。  (5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、さし絵、写真、統計資料、地図、年表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、児童の意欲を高めるよう配慮されているか。	◎	◎	○					
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 基礎的・基本的な内容の厳選、単元の適切な配列がなされているか。  (2) 問題から問題へと連続的に追究できるように単元構成がなされているか。  (3) 主体的に取り組みながら、社会的な見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら、社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考える力を養う配慮がされているか。  (4) 社会に見られる課題への配慮がされているか。  (5) さし絵、写真、統計資料、地図、年表等の扱いが学習指導の展開に生かせるものになっているか。  (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	◎	◎					
4 全体的な特色	(1) 採択基準1~3の観点及び体裁を含めた全体的な特色	◎	○	○					

II 適当と認めた理由 小学校 [ 社会 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの社も社会科の学習指導要領をふまえ、児童が問題意識をもちながら、調話し合い、まとめられるように配慮されている。</li> <li>・各社とも各単元の目標が明確で、目標達成に必要な内容が位置付けられている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの社も学年の発達段階に応じて、意欲をもちながら追究できるように配慮されている。</li> <li>・身近な社会的事象の写真・資料から、発達段階に応じた学習問題をつくり、興味・関心をもって追究できるように配慮されている。(東書・教出)</li> </ul>
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの社も導入部分では、図版や絵を用い、学習内容に興味・関心が高まるように配慮されている。</li> <li>・「社会的な見方・考え方」を表したマークが随所に示され、問題解決的な学習に「社会的な見方・考え方」を働かせながら取り組むことができ、学びが深められるように工夫されている。(東書)</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各社ともめあてや学習問題が提示され、児童が主体的に学べるように配慮されている。</li> <li>・3~5年の巻末に「どのように学んだかをふり返ろう」のページを設け、どのような方法を用いて学習したかを振り返ったり、別の学び方にも取り組めたりできるよう工夫されている。(東書)</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各社とも調査活動や表現活動で児童の見方や考え方を深めるように工夫されている。</li> <li>・「まなび方コーナー」に調査・見学などの活動やそれに基づく表現活動に応じたまなび方が具体的に示されており、系統的に学習技能を身に付けられるよう配慮されている。(東書・日文)</li> </ul>
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの社も挿絵や写真、図が鮮明で配置も適切である。</li> <li>・資料を大きく掲載し、複数の資料を比較・関連づけて掲示する際の割付を工夫し、追究意欲を高めるように配慮されている。(東書)</li> </ul>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの社も児童の意識の流れを大切にした単元配置がなされている。</li> <li>・いずれの教科書も、基礎基本的な内容が厳選されており、単元展開も学びが深まっていく、視野が広がっていくように構成されている。</li> </ul>
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各社とも小単元の学習問題や1時間のめあてが明示されており、問題意識をもちながら追究できるように配慮されている。</li> <li>・単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を明示し、学習段階（「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」）を併記して問題解決的な学習展開が促されるよう工夫されている。(東書・教出)</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの社も選択すべき単元が明示されている。</li> <li>・資料の提示により「社会的な見方・考え方」の視点や方法を引き出す工夫がされるとともに、児童同士や社会の人々との対話的な学習が例示され、多角的に考えられるよう配慮されている。(教出・日文)</li> <li>・主教材の代替や比較・関連のために活用できる補助教材が掲載されており、各学校が実態に応じて選択し、適切に指導計画が作成できるように配慮されている。(東書)</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの社も今日につながる課題まで深めていくこうと配慮されている。</li> <li>・自然災害やE S D、人権などの社会に見られる課題や、課題に対し様々な取組をする人々の話や姿を取り上げるなどして、社会参画への態度の育成がなされるように配慮されている。(東書・教出)</li> </ul>
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の写真や挿絵等を大きく見開きで並べて提示するなどの割付を工夫することで、資料を比較・関連づける学習指導の展開に生かせるよう配慮されている。(東書)</li> </ul>
	(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象の相互の関連や意味を多角的に考え、選択・判断したことを適切に表現できるよう学習場面の構成が配慮されている。(東書)</li> <li>・「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動が重視されており、選択・判断したことを適切に表現習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育てるよう配慮されている。(東書)</li> </ul>
4 全体的な特色	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決的な学習を通して、よりよい社会づくりに参画・貢献しようとする意欲が態度が育てられるよう配慮されている。またどのように学ぶのかの視点が重視され、各学校に応じた指導計画の作成や、学習・指導の充実が図れるように工夫されている。(東書)</li> <li>・巻頭に、前学年の学習の振り返りや追究を振り返る視点を示し、巻末で1年間を振り返るなど、追究過程の意識化が図られている。(教出)</li> <li>・調べ活動や表現活動という多様な学習活動を例示し、児童が主体的に学習を深めることができるよう工夫されている。(日文)</li> </ul>

教科名	発行者	教科書名
地図	(株)帝国書院	楽しく学ぶ小学生の地図帳

### 上記発行者の教科書を選定した理由

- ・社会科（特に地理学習）を学ぶ上で必要不可欠な地図資料はもちろんのこと、関連するグラフや図表なども十分に備えられており、児童が主体的に学習を進めることができる。
- ・地形図や地球儀の読図技能が段階に応じて身に付けられるよう工夫され、国土や世界の地理的理解ができるよう配慮されている。
- ・最新データを反映した主題図や人々の生活の様子を示す写真を掲載したり、問題提示や着眼点などを吹き出しや囲み枠で配置したりして、進んでテーマ学習ができるよう工夫されている。
- ・それぞれの地形図が全体的に明るく鮮明な色調でまとめられ、標高と土地利用で色分けされ、色の凡例を載せることで、地形図の情報を読み取りやすいように配慮されている。
- ・各地方に事例地域をあげて鳥瞰図でその地域的特色を示し、我が国の国土や産業に関わる主題図はグラフも用いて特色や地理的な条件を比較・関連・総合して考察できるよう配慮されている。
- ・地形図の成り立ちや地図記号の理解、索引の引き方など、地図帳の使い方に関する内容が冒頭で丁寧に扱われており、資料活用の基礎的な能力を養うよう工夫されている。
- ・豊富な統計資料や学習のポイントが示され、3学年からの利用も考慮し、様々な角度から学習できるよう配慮されている。

以上のことから、本書は社会科学習にとって最も適した教科用図書（地図帳）であると考えられる。

## I 調査表 小学校 [ 地図 ]

採択基準	観 点	出版社						
		帝 国	東 書					
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもらられているか。	◎	◎					
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 地域区分、地名、産物等の表記の分量と選択が適切で、読み取りやすい工夫がされているか。  (2) 問題追究の過程で、地図を読んだり、進んで活用したりすることができるよう工夫されているか。	◎	○					
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(3) 地図表現の段彩等が鮮明で美しく、親しみやすく学習できるように配慮されているか。  (4) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、写真、絵、統計資料、地図等は、正確で新しく、配色やコントラストが鮮明で分かりやすく、その提示が内容に即して適切か。	◎	◎					
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 基本地図の配列が適切であり、それ以外の自然、人文各種地図が、各学年の単元展開に効果的に使用できるように配慮されているか。  (2) 各種地図が、関連的に考察できるように配慮されているか。  (3) 変貌する現代社会の姿や課題への配慮がされているか。  (4) 写真、絵、統計資料、地図等の扱いが学習指導の展開に生かせるよう工夫されているか。	◎	○					
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	◎					

II 適当と認めた理由 小学校 [ 地図 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>両社とも、社会科の目標を達成するために必要な地図帳や地球儀の活用、47都道府県の名称と位置、世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置や領土など内容が明確に示されている。</li> <li>地形図や地球儀の読図技能が段階に応じて身に付けられるよう工夫され、国土や世界の地理的理験ができるよう配慮されている。（帝国）</li> <li>テーマ別の資料地図、統計資料等から各学年の学習内容に即して社会的事象の特色を多角的に考察できるよう配慮されている。（東書）</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>両社とも、日本の方図は8地方と主要地域の地図を加え、重要な地名・産物・歴史事項について表記するとともに、地名の種類ごとに判別しやすい表記がなされ、正しく読み取れるように工夫されている。（帝国・東書）</li> </ul>
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新データを反映した主題図や人々の生活の様子を示す写真を掲載したり、問題提示や着眼点などを吹き出しや囲み枠で配置したりして、進んでテーマ学習ができるよう工夫されている。（帝国）</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図表現の段彩等は、鮮明でわかりやすく学習できるよう配慮されている。</li> <li>それぞれの地形図が全体的に明るく鮮明な色調でまとめられ、標高と土地利用で色分けされ、色の凡例を載せることで、地形図の情報を読み取りやすいように配慮されている。（帝国）</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真、絵、統計資料、地図等は配色が鮮明で、わかりやすく表現されている。</li> <li>統計資料は主要な統計指標の他、各学年の学習に即した指標によるデータや児童に身近な農産物や工業製品の生産等を図やグラフで示し、統計資料を有効に活用できるよう工夫されている。（帝国）</li> <li>地方図では等高線を基に、主要都市圏図では土地利用の様子を基にそれぞれ段彩がなされ、地域の特徴が捉えやすく、全体的に落ち着いた色調で表されるよう配慮されている。（東書）</li> </ul>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>両社とも基本地図の配列が適切であり、それ以外の人文各種地図が、学年の単元展開に効果的に使用できるよう配慮されている。</li> <li>地図中に歴史上の主な出来事や遺跡を見やすく配置し、巻末には産業の様子を最新データで示し、歴史の舞台になった場所を地図中に示して、各学年の学習に活用できるよう配慮されている。（帝国）</li> </ul>
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>両社とも、各種地図が、学習と関連させて考察できるような配慮がされている。</li> <li>各地方に事例地域をあげて鳥瞰図でその地域的特色を示し、我が国の国土や産業に関わる主題図はグラフも用いて特色や地理的な条件を比較・関連・総合して考察できるよう配慮されている。（帝国）</li> <li>気候や地形を表す地図を比較しやすいレイアウトや年表にある出来事の地理的位置を明示するなど、地図と最新データ、写真が学習に即して関連的に学べるよう配慮されている。（東書）</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>両社とも、領土では近隣諸国との関係を示し、写真を付けて読み取りやすく配慮されている。</li> <li>地震や火山、防災に関わる写真や主題図を掲載したり、歴史上の出来事や伝統的工芸品、世界遺産名を地図上に示したりして、国土とその変化を捉えることができるよう配慮されている。（帝国）</li> <li>日本の自然災害の要因や最新の防災対策について取り上げたり、地図にラムサール条約登録地を掲載したりして、社会に見られる課題を広い視野から捉えるよう配慮されている。（東書）</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地形図の成り立ちや地図記号の理解、索引の引き方など、地図帳の使い方に関する内容が冒頭で丁寧に扱われており、資料活用の基礎的な能力を養うよう工夫されている。（帝国）</li> <li>地図には物差しや用いた縮尺、磁針を用いた方位、等高線の段彩などの凡例や、地球儀の活用方法について詳細な写真を用いて、発達段階に応じた地図学習の基礎を学べるよう工夫されている。（東書）</li> </ul>
4 全体的な特色	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地利用を6色に分けた地図が用いられ、広い視野から見ることができる折り込み地図や多様な主題図が用いられている。（帝国）</li> <li>豊富な統計資料や学習のポイントが示され、3学年からの利用も考慮し、様々な角度から学習できるよう配慮されている。（帝国）</li> <li>歴史年表と世界地図の関連を表すなど、各学年の学習内容との関連を十分に配慮して補助資料になるよう工夫されている。（東書）</li> </ul>

教科名	発行者	教科書名
算数	(株)新興出版社 啓林館	わくわく 算数

### 上記発行者の教科書を選定した理由

「自ら問題をみつけ、見通しをもって解決へと向かう学び（自立）」と「他者と考えを共有し、よりよい解決へと高め合う学び（協働）」を重視し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するという意図が明確に打ち出されている。

- 1 概念形成にこだわり、「算数」から「数学」へと、系統性を重視した学習内容や単元構成
  - ・発達段階に応じて数学的な表現方法等を系統的に配置し、図表や式、言葉などを関連付けながら、統合的・発展的に考えられるよう工夫されている。
  - ・既習事項を想起し、確認することができるプレ問題「じゅんび」は、新単元へのスムーズな導入につながるように考えられている。
  - ・中学校への橋渡しとして、第5・6学年は年間1冊の合本とすることで1年間を見通したり、巻末には前年度までの重要事項がまとめられ、既習内容を振り返ったりすることができるようになっている。一方、学年の発達段階を考慮して、第2～4学年は上下巻分冊としている。
- 2 「思考力・判断力・表現力」を育む工夫
  - ・「数学的活動」を積極的に取り入れ、「知識・技能」を確實に身につけると共に、筋道立てて主体的に考えていけるよう、単元構成や問い合わせ、問題が工夫されている。また、吹き出し等を効果的に活用し、主体的に自分の考えを説明したり、多様な考え方を伝え合ったりできるような配慮もされている。
  - ・図表や式、言葉などを関連付けて考えられるような配置や提示を工夫し、関係性や規則性などへの気付きを支援している。
- 3 算数への興味・関心を高め、自ら学ぶ力を育む工夫
  - ・学習の「めあて」や、自分なりの考えをもつための手がかりとなる数学的な見方・考え方、学習の仕方や参考ページがコメントとして書かれ、自ら学んでいけるように配慮されている。
  - ・全ての児童が学習する必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」の2部構成になっており、児童の興味・関心に応じてリンクさせながら、多様な学習形態がとれるように工夫されている。
  - ・「QRコード」を利用して、子どもたち自身が学びを振り返りながら、学習を深めたり定着させたりすることができるよう工夫されている。
  - ・身近な生活場面を題材にし、自ら課題を見出し、数学的な解決の方策を考えることを通して、算数を学ぶ意義を感じられるよう工夫されている。
- 4 学びやすさへの配慮
  - ・巻頭の授業モデルを使い、話し合い方や説明の仕方など、学習に取り組む姿勢を養うことができる。
  - ・見分けることが困難な配色を避けて、落ち着いた色合いで統一され、児童の心理面を考えて活字の字体や大きさを使い分けている。

## I 調査表 小学校 [ 算 数 ]

採択基準	観 点	出版社					
		東京書籍	大日本	学校図書	教育出版	啓林館	日本文教
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもらられているか。	◎	○	○	○	◎	○
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 発達段階に応じ、児童の多様な考え方や処理のし方を生み出せるように配慮され、分量も適切か。  (2) 興味・関心を喚起し、自ら問題を見い出し、解決するための構想を立て、実践し、その結果を評価・改善するなどの数学的活動になるよう、内容構成への配慮がされているか。  (3) 現実の世界と数学の世界それぞれにおける問題解決の過程が相互に関わり合いながら、児童自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう、展開が工夫されているか。  (4) 既習の学習内容を繰り返し学習できるような配慮がされているか。  (5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、さし絵、資料、図表等の意図が明確で、児童の興味や関心が高まるよう工夫されているか。	◎	○	○	○	◎	○
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(1) 単元の構成や配列が、目標に照らして適切か。	◎	○	○	○	◎	○
	(2) 数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用の内容が児童の発達に即して系統化され、基礎的・基本的な内容の扱いが適切か。	◎	○	○	○	◎	○
	(3) 主体的に活動しながら数学的な見方・考え方を働きかせ、事象を数量や图形、それらの関係などに着目して捉え、相互に関わりながら根拠を基に筋道を立て、統合的・発展的に考えられるよう配慮されているか。	○	○	○	○	○	○
	(4) 数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用の各領域を互いに関連づけたり、内容を補充・発展させたりして、個に応じた指導に生かせるように配慮されているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(5) 用語、記号、記述が数学的に正確であり、さし絵や資料等が指導に生かせるものになっているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるように工夫されているか。	◎	○	○	○	◎	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○	○	◎	○

II 適当と認めた理由 小学校 [ 算 数 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科の目標からの配慮	(1) ○各社とも、数学的活動を通して主体的に学び、分かった実感がもてるよう工夫されている。また、単元末の「読み物教材」等も充実させ、数学的な見方・考え方を位置付けるように配慮されている。 ・既習事項と統合し、発展的に考えていかれるような構成になっている。【東京書籍】 ・系統性を重視した単元構成で、数学的活動をもとに確認事項を精選し、知識・理解が主体的に確実に身につけられるように工夫されている。【啓林館】
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) ○各社とも、発達段階に応じた考え方の例示やコメントの挿入、書き込みスペースなどで、多様な考え方を引き出す工夫がされている。 ・既習事項と関係付けながら、個に応じた多様な考え方を示し、比較検討を通して理解を深めていかれるように、具体的な表現方法の記載がある。【東京書籍・啓林館】 ・別の方を考え出すきっかけになる考え方の例を示したり、解決の方法や結果が多様なものになる問題を入れたりすることで、多様な考えを生み出せるように配慮している。【学校図書】 ・話し合いを方向付け、焦点化するために「学びを深める問い」が用意され、多様な考えをつなげ、広げ、深められるように配慮されている。【教育出版】
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(2) ○各社とも、扱う数学的活動や題材は異なっているが、児童の興味・関心や意識の流れに配慮し、児童の問い合わせを生かしながら、深い学びにつながるような構成になっている。 ・問題を右のページに、解決方法を次ページに配置するなど、自ら問題を見い出し、主体的に取り組めるよう配慮されている。【大日本】【教育出版】 ・導入段階で「?を発見」のページを設け、新しい単元では数学的にどのような学習をするのか、わかりやすいイラストで表記されており、興味関心をもつとともに、見通しや課題をもちやすくする工夫がなされている。【学校図書】 ・数学的活動を通して、自らの課題に対し、主体的に自分の考えを説明したり、多様な考え方を数学的に表現し、伝え合ったりできるように配慮されている。また、1時間の授業展開を踏まえ、スマルステップで展開が進められるように、問題内容が精選されている。【啓林館】
	(3) ○各社とも、生活の場面から数学的な課題を見出し、発達段階に応じて主体的・対話的で深い学びにつながるように工夫されている。 ・単元の導入にあたって生活の事象や既習内容を取り上げ、それについて視点を定めて対話することを通して、単元全体の課題を発見し、主体的に取り組めるように配慮されている。【東京書籍】 ・挿絵をもとに、具体的な買い物や生活体験場面から、問題提起が図られるように、導入が工夫されている。【大日本】【学校図書】【啓林館】【日本文教】 ・問題発見や解決の過程を、児童の問い合わせを生かした構成にすることで、数学的活動の充実と主体的で対話的な深い学びになるように配慮されている。【教育出版・啓林館】 ・吹き出しなどを通じて、子どもたちが主体的に一人ひとりの考え方を比較、検討できるようにまとめられている。【東京書籍】 【学校図書】【教育出版】【啓林館】
	(4) ○各社とも、自分の学びを自己評価し、学び直しができる場が設けられている。 ・ノートの作り方や、既習事項の振り返りページなど、丁寧に説明して振り返るページが充実しており、自分で復習しやすくなるように配慮されている。【東京書籍】【啓林館】 ・既習事項の確認を図るために、比較的簡単な問題から取り組みをスタートさせ、段階を追ってステップアップが図れる学習展開がとられている。巻末の問題数も十分で、児童が自己評価しながら主体的に繰り返し学習ができるように配慮されている。【啓林館】
	(5) ○各社とも、字の大きさやカラーページなどの配慮をし、挿絵や写真、キャラクターの吹き出しやコメント等、児童の興味・関心が高まるよう工夫されている。 ・単元のねらいを子どもの意識で書き表し、興味関心を引くように工夫している。【東京書籍】【大日本】【日本文教】 ・イラストを多く使い、視覚的に理解しやすい配慮がなされている。また、日常生活の中に算数・数学の学習がどのように活かされているか、子どもの視点で興味をもつような記載が見られる。【大日本】【教育出版】 ・図や表を大きくレイアウトし、文字による情報は少なめにして、教室での学び合いを中心に課題を解決していくことができるよう工夫されている。【日本文教】

3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) ○各社とも単元の系統性や関連性を意識した単元構成や配列がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎的・基本的な内容」の反復学習を重視した単元構成で、知識及び技能の定着が求められる内容を一つの学期に集中させず、同一領域の内容が連続しないように配慮されている。また、各単元で大切にしたい数学的な見方や考え方を単元末に示し、教師が単元の指導計画を立てる時の指針となるよう工夫されている。【東京書籍】</li> <li>・全ての児童が学習する必修内容の本編と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」の2部構成になっており、一人ひとりの学びに対応できるように配慮されている。【啓林館】</li> <li>・小数のわり算や分数の計算など、習熟に時間がかかるものが三学期にない配列になっている。【東京書籍】【啓林館】</li> </ul>
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2) ○各社とも、児童の発達に即して系統化され、基礎的・基本的な内容が定着したかを確認しながら学習が進められるよう配慮されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟に時間を要する内容や、反復学習が有効な単元は二つの単元に分け、分散することで基礎的・基本的な内容が定着できるように配慮されている。【東京書籍】</li> <li>・問題解決の段階を細かく分け、図や操作活動を通して易から難へと配列している。筆算の学習で繰り上がりや繰り下がりの表記について記載があり、計算が苦手な児童のための支援に配慮している。【大日本】</li> <li>・毎時間の学習内容の定着と繰り返し学習の機会を設け、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるよう配慮されている。円周の描き方を道具や定規、コンパスなど様々な具体物を使ったり、実際の地図を使って距離を比較したりして生活場面で活用するように配慮されている。【教育出版】</li> <li>・児童の思考と学習展開に大きな隔たりを生じさせないよう、スマールステップで基礎的・基本的な事項を用いながら問題を解決していくことができるよう工夫されている。【啓林館】</li> </ul>
	(3) ○各社とも、根拠を基に筋道立てて考え、統合的・発展的な思考へつながるような工夫がされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ページを設けて数学的活動の流れの一例を示し、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動が実現されるように配慮されている。【教育出版】【啓林館】</li> </ul>
	(4) ○各社とも、発達段階に応じて数学的な表現方法を系統的に配置し、図表や式、言葉等を関連付けながら、統合的・発展的に考えられるよう工夫されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な学習形態に対応できるよう、発展的な問題と補充的な問題が位置付けられており、個に応じた指導の充実が図れるように工夫されている。【東京書籍】【大日本】【教育出版】【啓林館】</li> <li>・「テープ図・線分図・関係図・表」等の書き方について、「図を使って考えよう」として系統的に扱われ、一貫した指導がなされると共に、数直線の他に、関係図や表を並列して並べ、多様な考えをもてるように配慮されている。また、QRコードを利用して、子どもたち自身が学びを振り返りながら学習を深めたり定着させたりすることができるよう工夫されている。【啓林館】</li> </ul>
	(5) ○各社とも、用語や記号については正確を期し、挿絵や資料は身近なところと結び付け、視認しやすく、見通しがもちやすいように工夫されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・曖昧な表現は避け、丁寧で正確な表記に配慮されている。【大日本】</li> <li>・道具の使い方や作図の仕方など、手順を細かく分割した連続写真や動画を用いて指導に生かせるよう工夫している。【啓林館】</li> <li>・巻末に、「切り取り教材」があり、授業で活用しやすい。【東京書籍】【啓林館】</li> </ul>
	(6) ○各社とも、単元末や巻末にまとめや練習問題を位置付け、それぞれの観点を明確にすることにより、自己評価しながら主体的な学習を進め、定着が図れるよう工夫されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主に考え方を問うような単元では、単元末には授業場面を想起させる書き方で、振り返ることができるよう工夫がされている。【東京書籍】【教育出版】</li> <li>・章末の練習問題など、個に応じて学習内容を確實に振り返ることができるよう工夫されている。【学校図書】【教育出版】【啓林館】【日本文教】</li> <li>・特設ページを使って、実際のノートの書き方を具体的に提示し、課題・自分の考え・まとめと一連の学習の足跡が残るような書き方を説明している。【東京書籍】【教育出版】【啓林館】</li> <li>・単元末には、知識理解・技能・考え方の点でバランスよく出題されている。また、学習を振り返って感想を記入する場が位置付けられており、自己評価や実態把握がしやすいように配慮されている。【啓林館】</li> </ul>

4 全体的な特色	<p>(1) ○各社とも、児童が数学的活動を通し、既習内容を活用して主体的に学習に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能の定着や活用する力の伸長が図れるよう、学習問題や問題提示の方法、考え方や学び方の提示など、工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の事象や既習内容を丁寧に取り上げることにより、対話を通した学習活動の充実や、既習内容の振り返りの充実が実現できるよう工夫されている。【東京書籍】</li> <li>・児童の「問い合わせ」を大切にしながら、数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるよう工夫されている。【教育出版】</li> <li>・スマールステップで、系統的に基礎的・基本的な事項を用いながら問題を解決することにより、事象を筋道立てて考え、合理的に処理する力をつけることができるよう工夫されている。【啓林館】</li> </ul>
----------	--

教科名	発行者	教科書名
理科	一般社団法人信州教育出版社	新しい理科

### 上記発行者の教科書を選定した理由

- 1 長野県の特色ある自然や身近な事象を教材として数多く取り入れ、児童の実態に合った内容で、地域の特性を考慮した単元配列である。特に生物分野においては、寒冷な気候と生物の成育状況（特に植物）にあわせて学習ができるように配慮されている。
- 2 児童の思考過程を大切にした学習展開がなされ、問題解決を図る学習過程も丁寧に示されており、理科の苦手な教師でも指導できるように配慮されている。
- 3 観察実験の学習カードが充実しており、予想、計画、記録、結果、考察、まとめ等の記入の仕方が具体的でわかりやすい。
- 4 さし絵、写真、図表等の内容が適正かつ正確であり、本文との関連が密接に図られている。信教の教科書は、図表や写真が精選され、焦点化されており、その分シンプルでわかりやすい。資料を豊富に揃えて子どもたちの興味や意欲を引きつけられる教科書もあるが、情報が多くてかえってわかりにくくしているところもある。
- 5 観察実験の方法がわかりやすく、ポイントとなるところは写真や図で示されている。安全面の記述が丁寧で、同じ単元の中でも繰り返し指導できるように配慮されている。
- 6 単元末の「まとめてみよう」が児童の言葉で端的にまとめられており、文章や図表を使ったまとめ方の参考として有効である。

I 調査表 小学校 ( 理科 )

採択基準	観 点	出版社					
		信 教	啓 林	教 出	大 日	学 図	東 書
1 教科書の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもらられているか。	○	○	○	○	○	○
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 内容、程度が児童の発達段階に応じるよう配慮されているか。  (2) 児童の生活経験や地域性と結びついた問題の解決に生かせ、理科の見方や考え方を働かせて問題を科学的に解決するための工夫がされているか。  (3) 児童が興味・関心をもって追究でき、学習が主体的・対話的に行えるような配慮がされているか。  (4) 例示された観察、実験の方法や図が適切で正確であり、かつ安全性への配慮がされているか。  (5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、児童の学習意欲を高めるよう配慮がされているか。	○	○	○	○	○	○
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等		○	○	○	○	○	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 目標に照らして、単元の構成や配列が工夫されているか。  (2) 理科の見方や考え方を働かせ、相互に関わりながら、問題を科学的に解決することができるよう、内容や単元の関連性や連続性が図られているか。  (3) 地域や季節の移り変わりに合うよう考慮され、学習が具体的・体験的であり、主体的に取り組めるよう、展開が工夫されているか。  (4) 観察、実験、飼育、栽培、ものづくりなどが、安全面や自然環境に配慮した位置付けになっているか。  (5) 配色・さし絵・写真・図表等の内容が適切かつ正確であり、かつ、本文との関連が密接で、指導に生かせるものになっているか。  (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	○	○	○	○	○	○
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価		○	○	○	○	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	○	○	○	○

II 適当と認めた理由 小学校 [ 理科 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	各社とも理科の目標をふまえ、目標達成に必要な内容を的確に盛り込んでいる。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	各社とも発達段階に応じた教材を扱っており、身近な自然事象から学習問題を見出し、無理なく学習が展開されるように工夫されている。
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(2)	各社とも生活経験と結びつけた学習を展開している。特に信教の教科書は、長野県の寒冷な気候や地形など、地域の特性を考慮した単元配列や教材化がなされている。
	(3)	各社とも学習が主体的・対話的に行えるように児童の疑問を大切に取り上げて追究していく展開が工夫されている。また、見通しを持って実験観察ができるように手順や視点が明確に記載されている。
	(4)	各社とも図表は正確で写真もわかりやすく、安全への配慮が丁寧に記載されている。
	(5)	各社とも図表や写真が鮮明でわかりやすい。吹き出しやキャプションも含め、児童の関心意欲が高められるようにレイアウトが工夫されている。
	(6)	各社とも該当学年で身につけるべき内容が、系統的にバランス良く配列されている。特に信教は、児童の思考に沿った問題解決学習を重視している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	各社とも問題把握から考察・まとめまでの流れを繰り返し学習することで、科学的な見方・考え方方が身につけられるように配慮されている。
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	信教の教科書は生物に関わる実験観察において寒冷な気候に適した単元配列がなされ、適切な時期に学習できるように配慮されている。
	(3)	各社とも安全面の指導ができるように配慮されている。また、実験器具の使い方や生き物の飼育栽培についての配慮点等が丁寧にまとめられており、指導に活用しやすい配慮がされている。
	(4)	各社ともさし絵、写真、図表などの内容は適正かつ明瞭であり、本文との関連も密接である。特に信教の教科書は、長野県内の自然環境を取り上げた写真が用いられ身近な事象として指導にいかしていける。
	(5)	各社ともまとめや振り返りも重視している。特に、信教と啓林館の教科書は、単元毎の終末に児童の言葉でポイントを押さえられており、まとめの観点が明確になる工夫がされている。
	(6)	各社とも児童の実態に合った内容であり、単元配列や問題解決の過程で工夫が見られる。特に信教の教科書は、長野県の自然や身近にある教材を数多く取り入れ、児童の思考に沿った問題解決の過程を丁寧に記載していてわかりやすい。
4 全体的な特色	(1)	各社とも児童の実態に合った内容であり、単元配列や問題解決の過程で工夫が見られる。特に信教の教科書は、長野県の自然や身近にある教材を数多く取り入れ、児童の思考に沿った問題解決の過程を丁寧に記載していてわかりやすい。

教科名	発行者	教科書名
生活	一般社団法人 信州教育出版社	せいかつ (上下)

#### 上記発行者の教科書を選定した理由

長野県の風土や環境に合わせた自然や生活を単元に取り入れ、自分を取り巻く人々との体験や、人・もの・こととの関わりを深められるよう工夫されている。地域の特性が盛り込まれ、児童にとって身近であり興味が持てる内容になっている。上小地域の子どもたちが生活を見つめ生活を豊かにする教科書として最適と考えられる。

イラストや写真が多用されているばかりでなく、効果的に配置されており、文章の量も低学年の発達段階に配慮されている。児童の体験したことを想起させやすいように日常的な地域の様子を豊富に取り入れてあると共に、信州らしい内容に満ちあふれ、取り組みへの契機や意欲を高めるのに大変有効である。

季節の移り変わりによってできる活動や風景の違いを効果的に配列しながら、見開きにより紹介している。図鑑的な表現や活動の羅列ではなく、具体的実践に基づくリアルな紙面が気づきの質を高め、活動の幅と児童の思考を広げるきっかけになると期待できる。

教科書で伝えたい活動内容やめあてなどの意図が、児童に明確に伝わりやすい工夫が全体的に施されている。以上のことから、この地域の児童が使用する教科書としてどの会社よりも適切であると考える。

# I 調査表 小学校 ( ) 生活 ( )

II 適当と認めた理由 小学校 [ 生活 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	全社とも、目標をふまえ、目標達成に必要な内容が的確に盛り込まれている。長野県の風土や環境に合わせた自然や生活を単元的に取り入れ、自分を取り巻く人々との体験や、人・もの・こととの関わりを深めるよう工夫されている。(信教)
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	家族や友人、地域の方々など、身近な人々と関わりながら、主体的に生活を営もうとする姿勢や生活をみつめるよう配慮されている。(信教) 臨場感あふれるイラストや写真で上手に説明してあり、まだ文章を読んだり書いたりがスムーズに出来ない児童にとっても取り組む活動内容が分かるように配慮した内容になっている。(大日・教出)
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(2)	日々暮らす地域、その地域に根ざした動植物との関わり、同じ対象に年間を通して繰り返し働きかけることのできるように構成など、子どもたち自身が学びを深め易いように工夫されている。(信教) 児童の思いや気づきの表現を多く提示しており子どもたちが参考にして学習に取り組みやすい。活動の振り返りや活動の広がり深まりも可能。(東書)
	(3)	長期にわたる飼育・栽培活動等の中で感動を味わいながら主体的に活動できるよう工夫されている。写真や挿絵に具体的な実践のリアリティーさが感じられる。本物に触れた表情は子どもたちに訴えるものがあるだろう。(信教) 実物大やズームアップした写真を数多く使用することで、活動をイメージしやすく意欲的に取り組めるよう配慮されている。(大日・学図)
	(4)	体験との結びつきを図ると共に、地域の日常の様子がよく取り入れられ、取り組みへの意欲を高めるために有効である。(信教) 学習カードを豊富に掲載することで、自ら想像したり思考したりしていく力を養う工夫がなされている。(東書)
	(5)	写真やさし絵が大きく、わかりやすい。また、児童に伝えたい情報が焦点化され、提示の仕方が工夫されている。(信教) 知識をわかりやすく説明し、配色にも落ち着きがありわかりやすい。(教出) 写真に表情が感じられ、子どもたちがひきつけられる内容になっている。(学図)
	(6)	全社とも単元の構成や配列に関しては、目的、内容項目に照らして適切に配置されている。 大単元の中に多様な小単元を設定し、連続的かつ多様な活動から目的にせまるるよう配慮されている。(信教)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(2)	伝統的な信州の行事や飼育・栽培活動等、地域や風土にあった活動が取り上げられ、やってみたいという気持ちの想起と深まりが期待できる。(信教)
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(3)	季節ごとの地域の特性や活動が具体的な実践により紹介され、児童にとって身近であるばかりでなく、地域の特性をとらえるという面では群を抜いている。(信教) 季節の移り変わりによってできる活動を効果的に配列しながら、活動を連続的な表にするなど、分かりやすく紹介している。(東書・教出・日文教)
	(4)	季節の移り変わりを、行事をモチーフにした切り絵で紹介し、生活体験の掘り起こしにつながるよう工夫されている。信州らしい季節感を感じる。(信教) 自分自身の生命の誕生や尊さに触れられる単元、人権・福祉・国際理解に関わる単元が設定されていて、今日的課題に対応した内容への配慮がされている。(東書・日文教・信教)
	(5)	絵や写真是、楽しいイメージをもつると共に、説明的ではない。また写真の児童の自然な表情にも好感がもてる。絵や写真的な場所が生活を思い起こさせるような親近感のある内容になっている。(信教) 栽培・飼育活動の手順や安全な用具の使い方が、分かりやすい写真や文で表現され児童が理解しやすく意欲的に活動できるよう配慮されている。(東書・日文教)
	(6)	児童の学習カードや記録・作文などをわかりやすく掲載し、学習内容のまとめ方の参考にしやすい。(信教・啓林・東書・教出・大日本) 学習カードやまとめのカード、手作り新聞等が豊富に掲載され、まとめに生かす工夫がなされている。(東書)
4 全体的な特色	(1)	教科書で伝えたい活動内容やめあてなどの意図が、伝わりやすいよう全体的に工夫されている。また、地域性や息の長い活動にも特色を感じ具体性がある。(信教) 児童の活動への意欲を引き出すための工夫がされていながらも、図鑑的要素や活動の説明も取り入れられており、教科書としての使いやすさが感じられる。(東書) 体験活動や表現活動を重視し、事例を多く盛り込み、伝え合う力の育成を図っている。挿絵に比べ写真も多く活動がわかりやすい。(教出)

教科名	発行者	教科書名
音楽	(株) 教育芸術社	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 ~ 6

#### 上記発行者の教科書を選定した理由

- ① 調査表における採択基準・観点の1-(1)から4-(1)までの13項目中11項目が優れた評価となった。
- ② 各学年共に、様々な楽曲や音楽活動がバランス良く配置され、教材や学習内容が6年間を見通した系統性によって設定されている。それにより、同じ音楽を形作る要素を、発達段階が進むにつれて既習事項を生かしながら、発展的に学ぶことができるよう配慮されている。【1(1), 2(1), 3(1)】
- ③ 友だちと合わせてリズム打ちをしたり、対話をしながら音楽づくりをしたりする活動が提案されている。鑑賞の領域においても、作曲者や作詞者の思いを感じながら友だちと話し合う活動例が掲載されるなど、主体的・対話的な学習へと誘われるよう配慮されている。【1(1), 2(2), 3(3)】
- ④ 楽曲の心情を捉えやすくなるような挿絵や写真が数多く掲載されており、児童が学習への見通しを持ちやすくなるような吹き出しや絵図が掲載されておりすることにより、学習主題へ迫りやすくなっている。また、どの教材にも決まった位置に学習目標と音楽を形作る要素が示され、身につける学習内容が掴みやすいように配慮されている。【2(3), 2(5), 3(2), 3(5), 4(1)】
- ⑤ 個々の興味や関心の高まりに応えて発展させられるように、鑑賞題材では比較鑑賞できる楽曲やそれに纏わるコラムなどが掲載されている。また、随所に調べ学習の提案や、社会や理科や英語等の他教科、総合的な学習、道徳や人権教育への関連付けが期待できる内容が盛り込まれ、発展性を持たせている。【2(4), 4(1)】
- ⑥ 各ページでは、主題に意識が向けやすくなるようにページレイアウトがなされており、色彩は豊かであるが穩やかな色づかいが心がけられたりしている。また、絵図に登場するキャラクターも刺激が少なく稳やかな表情で描かれている。その他にも、児童目線で見た向きで楽器の写真を掲載するなど、児童の理解を助けるために視覚的な配慮が充分にされている。【2(3), 3(5)】
- ⑦ 全学年で裏表紙に郷土の芸能や音楽について掲載されている。また、歌い継がれている日本の歌を、コーナーを設けて全学年で扱っている。日本的な心情や日本語の美しさに触れられるような工夫がある。【4(1)】

## I 調査表 小学校 [ 音楽 ]

採択基準	観 点	出版社							
		教芸	教出						
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもらられているか。	◎	◎						
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 楽曲や音楽活動の程度が学年の発達段階に応じるよう配慮されているか。  (2) 児童の興味・関心にそって音楽活動がなされ、他者と協働しながら音楽への理解が深まるような展開が工夫されているか。	◎	○						
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(3) 児童の主体的・創造的な音楽活動に必要な配慮がされているか。	◎	○						
	(4) 児童が豊かな音楽活動を楽しみながら、楽曲のよさや美しさを感受できるような工夫がされているか。	◎	◎						
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、楽譜、さし絵、写真、配色等が鮮明で、学習への意欲を高め、音楽を視覚化して表すような配慮や内容の理解を深めるよう配慮がされているか。	◎	○						
	(1) 基礎的・基本的な内容が無理なく身に付くよう系統的な題材配列がされているか。	◎	◎						
	(2) 内容の関連や発展を生かした学習展開が工夫されているか。	◎	○						
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(3) 主体的に取り組みながら音楽的な見方・考え方を働きかせ、相互に関わり合いながら、多様な音楽活動を主体的・対話的に体験できるよう配慮されているか。	◎	○						
	(4) 地域の特性や児童の生活経験及び、個人差に応じた指導ができるような弾力性をもっているか。	○	◎						
	(5) 挿絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるような配慮がされているか。	◎	○						
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	○	◎						
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○						

II 適当と認めた理由 小学校 [ 音楽 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材では音楽を形づくっている要素が明記され、それらに着目しながら音楽表現を工夫したり鑑賞したりできるよう構成されている。また、題材構成は児童の発達段階が考慮された系統的なもので、既習事項を生かしながら学習を積み重ねられるよう工夫されている。(教芸・教出)</li> <li>様々な楽曲や音楽活動をバランスよく配置し、友と協働しながら主体的・対話的に学ぶことができるよう構成されている。(教芸)</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の発達段階に応じた教材や学習内容が系統的に配列され、同じ要素を発展的に学習できるよう配慮されている。(教芸)</li> </ul>
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズム遊びや友と協力して音楽づくりをすることのできる教材が掲載され、音楽の楽しさを感じながら協働して取り組めるよう工夫されている。(教芸)</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の手順や活動の例、児童の発言の例が吹き出しへ示されており、児童が見通しをもって取り組めたり、思いや意図をもって主体的に取り組めたりするよう配慮されている。また、絵図に登場する人物の表情等は、比較的刺激が少ない穏やかなものが描かれており、児童の意識が学習に集中できるように配慮されている。(教芸)</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞では、演奏している楽器とともに、比較鑑賞できる楽曲や楽器、演奏者のコラムが掲載され、関心をもって音楽への思いや楽曲の良さを感受できるよう工夫されている。(教芸)</li> <li>様々な時代や曲趣の教材により、幅広い演奏方法や表現にふれることができるよう工夫されている。(教出)</li> </ul>
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情景や心情が思い浮かぶようなカラーの挿絵や写真が数多く掲載されているとともに、そのページで見るべきポイントが、分かりやすく整然と示されており、視覚的に配慮されている。(教芸)</li> </ul>
	(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年間を通した系統的な題材構成とねらいに即した教材配置により、既習事項を生かして学習が広がるよう工夫されている。(教芸・教出)</li> </ul>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項の左上には教材ごとの学習目標が、右下にはその学習の核となる音楽を形づくっている要素が示されており、他の教材との関連や、身に付ける力が明確になるよう工夫されている。(教芸)</li> </ul>
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱や鑑賞の音楽活動に加え、その楽曲の作詞者・作曲者の思いを感じて話し合う活動例が掲載され、友と関わり合いながら主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。(教芸)</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年において、一つの題材の中でも児童の生活や心情に即した教材が複数用意されており、児童個々の興味・関心に沿っていろいろな楽曲の価値に触れられるように工夫されている。(教出)</li> </ul>
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材の背景や歌詞の内容に寄せたカラー写真が見開きで掲載されるなど、楽曲の心情を掴みやすい工夫がされている。また、楽器の写真や図が児童から見た向きで掲載され、視覚的に児童が理解しやすいように配慮がなされている。(教芸)</li> </ul>
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の巻末に、発達段階に合わせた『「音楽のもと」まとめ』が示されていて、音楽を形づくっている要素を観点としての評価や振り返りができるよう工夫されている。(教出)</li> </ul>
	(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に、それぞれの題材で学ぶ内容が明確に掴みやすく構成されている。ページレイアウトや絵図の色調等に配慮がなされ、児童が落ち着いて学習に向き合い、感性や表現力を広げることが期待できる。また、郷土の音楽や、身近な生活と音楽とのつながりをコラムや写真で示す等、総合的な学習へも活用できるような題材も織り込まれているため、発展的な学習が期待できる。(教芸)</li> </ul>
4 全体的な特色	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に、それぞれの題材で学ぶ内容が明確に掴みやすく構成されている。ページレイアウトや絵図の色調等に配慮がなされ、児童が落ち着いて学習に向き合い、感性や表現力を広げることが期待できる。また、郷土の音楽や、身近な生活と音楽とのつながりをコラムや写真で示す等、総合的な学習へも活用できるような題材も織り込まれているため、発展的な学習が期待できる。(教芸)</li> </ul>

教科名	発行者	教科書名
图画工作	日本文教出版	图画工作

#### 上記発行者の教科書を選定した理由

图画工作では、3名の調査研究委員により厳正に調査・研究し、審査した結果、標記の教科書を選定した。どちらの教科書も、新しい学習指導要領の改訂ポイントをふまえ、これまでの教科書と比べて改善された点が多く充実していたが、特に以下の2点から評価した。

1 当該教科書は、題材の内容が一目でわかる題材名とともに、実際の活動へと誘うリード文が大変すぐれており、児童がイメージを豊かに持ちながらより主体的に学習に取り組めるものになっていることを評価した。もう一社の教科書も題材名・リード文ともに工夫はみられるが、やや漠然としていることが評価の分かれ目となった。

2 当該教科書は、全題材が見開き2～3ページで見やすく構成されているほか、写真や資料の枠の形、色彩、情報量、マークによる表示等にも配慮するなど、特別な支援を必要としている子にもわかりやすい、ユニバーサルデザイン化への配慮が行き届いている点を評価した。もう一社の教科書も、ユニバーサルデザイン化への配慮はなされていたが、見開きで別の2つの題材が並ぶページがいくつかあり、様々な所に注意が向きやすい児童にとって、余計な刺激になる可能性があることが評価の分かれ目となった。

## I 調査表 小学校 [ 図画工作 ]

採択基準	観 点	出版社				
		開 隆 堂	日 文			
1 教科の目標から の配慮	(1) 教科の目標を達成するた めに必要な内容が的確に明ら かにされているか。	◎	◎			
2 児童の学習 活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘 意性	(1) 題材の造形的、技能的な 内容が児童の発達段階に適す るよう配慮され、個人差に応 じた幅をもっているか。  (2) 児童の興味・関心・意欲 を高め、主体的・対話的に活 動できるような題材や導入の 工夫がされているか。	◎	◎			
本文、見出し、設 問、提示文等の表 現、さし絵、写真 図表、配色、コン トラスト等	(3) 児童が感性や想像力を働 かせて、イメージを豊かにふ くらめ、作ったり見たりする ことを喜び、楽しめる学習活 動が工夫されているか。	◎	◎			
	(4) 用具の使い方など安全性 への配慮がなされているか。	◎	◎			
	(5) 全ての児童にとって読み やすさに工夫され、絵、写 真、図表、配色、コントラス ト等が鮮明で、創作への意欲 を高めるよう配慮されてい るか。	○	◎			
3 学習指導へ の配慮 ○単元・題材の 配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な 知識・技能の習得」 のための工夫、「思 考力・判断力・表現 力等の育成」のため の工夫、「主体的に 学習に取り組む態度 を養う」ための工 夫、関連性・連続 性、個に応じた指 導、他者との協働、 まとめと評価	(1) 領域の目標に即し、基本 と発展を考慮し、全学年を通 して、関連的・連続的に扱え る題材配列になっているか。	○	◎			
	(2) 表現と鑑賞を相互に関連 させた指導のための工夫がさ れているか。	○	◎			
	(3) 主体的に活動をしながら 造形的な見方・考え方を働か せ、相互に関わり合いなが ら、表したいこと、表し方に ついて考え、作品などに対す る見方や感じ方などについて 広げ、深められるよう配慮さ れているか。	○	◎			
	(4) 思いを具体的に表現する ために必要な、技法、技術や 材料、用具に関する資料や解 説は適切か。	○	◎			
	(5) 学習を豊かにし、個に応 じた表現を助ける資料とし て、図版、写真等が多面的 で、児童の学習展開にと って適切なものになっているか。	○	◎			
	(6) まとめや評価の観点が、 明確になるよう工夫されてい るか。	○	◎			
4 全体的な 特色	(1) 採択基準1～3の観点及 び体裁を含めた全体的な特 色。	◎	◎			

II 適当と認めた理由 小学校 [ 図画工作 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	二社とも、発達段階に応じた材料や用具が取り上げられ、創造的な発想や構想ができるよう配慮されている。また、学びが、生活や社会と関連づけられるような工夫もそれぞれ見られる。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	二社とも、上下2冊の教科書により、多様な題材と製作写真が取り上げられ、添えられた児童のコメントや説明により、各児童のイメージの広がりに対応した幅が考慮されている。
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(2)	二社とも、題材名の付け方からリード文まで工夫しているが、日文の方が、よりイメージが膨らむ投げかけ方となっており、導入時の児童の意欲の高まりが期待できる。
	(3)	二社とも、多様な表現の写真が紹介されていると共に、児童が活動している写真も取り上げられており、児童がイメージを豊かに広げながら学習活動に取り組めるよう工夫されている。
	(4)	二社とも巻末に学年に応じた道具の使用法や材料の説明等が丁寧に示されている。日文は「気をつけよう！」開隆堂は「！安全」という項目で、二社とも十分な配慮が感じられる。
	(5)	二社とも題材名やリード文の表示、写真やイラストの配色・コントラストについて配慮されているが、開隆堂は見開き2題材のページがいくつかあり、児童にとって余計な刺激となる心配がある中、日文は、見開き1題材に統一されている。
	(6)	二社とも、6年間を通じて同じ材料や用具にくりかえし関わることができるよう設定されており、めあてを変えることで3つの資質能力がバランスよく育成されるよう考えられている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	二社とも、開隆堂は、鑑賞から表現につなげる題材で、友からの言葉を付箋で表現するなどの、対話的な鑑賞の助けになる工夫が見られる。日文の方は、対話的な鑑賞の様子や、表現活動とのつながりを具体例で掲載している。
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	二社とも、それぞれ児童の見方感じ方を広げることに配慮した特設コーナーを設けると共に、写真に添えられた児童の吹き出しにより、造形的な見方考え方の働きかせ方を、児童が自然と身につけていかれるよう工夫している。
	(3)	二社とも、材料や用具の知識、使い方の工夫や手順について、題材毎や巻末に丁寧に示されており、必要に応じて活用できるような工夫が見られる。
	(4)	二社とも、開隆堂は、QRコードを読み取ることで、インターネットの動画が直接参照できる工夫があり、授業外でも児童が自分で活用できる。日文は、動画についてはサイトからアクセスする方式だが、教科書自体で児童がつまずきやすいところについて大変丁寧に表現されている。
	(5)	開隆堂は、各題材で特に中心となるめあてを強調して示し、それに対応した「ふりかえり」が明確に設定されている。日文は、3つの観点に触れたふり返りの視点を児童の言葉で例示しており、参考になる。
	(6)	二社とも、意欲を高める題材名や写真等に主体的・対話的な学習を促す工夫が見られ、3つの資質・能力がキャラクターやシンボルマーク化されるなど、めあてが明確化されている。また、ユニバーサルデザイン的にも配慮された教科書となっている。
4 全体的な特色	(1)	

教科名	発行者	教科書名
家庭	開隆堂出版（株）	わたしたちの家庭科 5・6

### 上記発行者の教科書を選定した理由

- 「何を学ぶのか」「何ができるようになるのか」を意識できる。
  - ・題材の導入に「学習のめあて」を提示し、「やってみよう」「考えよう」で自分の課題をもち主体的に学習に取り組み、最後に「ふり返ろう 生かそう」で、学んだことを家庭生活に生かせるように題材の構成が工夫されている。
  - ・3つのステップ（①見つける・気づく②わかる・できる③生かす・深める）で題材を構成し、第1ステップには、「なぜぬうのだろう」「なぜ整頓するのだろう」第2ステップでは、「ゆでるといためるはどうにちがうのだろう」のように、疑問形の項目名がついていて、学習内容がイメージでき、問題解決的な学習がやりやすい表現になっている。
  - ・単元ごとの「学習のめあて」「振り返ろう」には、学習を振り返るチェック欄があり、「できたかな」では技能面のチェック欄が設けられており、児童自らが評価できるようになっている。
  - ・基礎的・基本的な学習をスマールステップで積み重ねられる単元構成になっている。易から難へと、さらに季節等を考慮して配列され、家族の一員として、生活をより良くする実践に結びつくような配慮がなされている。
- 生活環境に大きな差がある児童や配慮が必要な児童、ユニバーサルデザインにも配慮されている。
  - ・実習や制作などの手順は大きく、すべて横流れのデザインで統一されている。また、紙面もすっきりしていて見やすく、文章も読みやすい。
  - ・家庭科で基礎・基本を繰り返し学習し、知識・技能を身につけ、自分の生活にいかしていくように構成されている。
  - ・自分の技能レベルに合わせて実習を行う工夫がされていたり、やってみたいと感じる実習例や制作例が多数紹介されている。
  - ・家庭科を教えた経験が少ない学級担任も教えやすい。

## I 調査表 小学校 [ 家庭 ]

採択基準	観 点	出版社					
		書籍東京	開隆堂				
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するためには必要な内容が的確にもらられているか。	○	○				
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 児童の発達段階や生活実態等に配慮した衣食住の題材配列になっているか。  (2) 身近な家庭生活の問題から、生活を工夫創造するような題材構成の工夫がされているか。	○	○				
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(3) 児童が興味・関心をもって主体的・対話的に追求し、家庭生活を実感的にとらえられるように配慮されているか。	○	○				
	(4) 学習指導要領の3つの内容において、安全面や衛生面への配慮がされているか。	○	○				
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、児童の意欲を高めるよう配慮されているか。	○	○				
	(1) 学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるように組まれているか。	○	○				
	(2) 児童の家庭生活や地域の行事等の関連に応じられるように配慮されているか。	○	○				
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(3) 生活の営みに係る見方・考え方の視点で生活事象を捉え、主体的に、相互に関わりながら活動できるよう、児童の実態に立った題材の取扱いがなされているか。	○	○				
	(4) 題材が集団や個別で学ぶ内容や家庭との連携に発展する内容で構成されているか。	○	○				
	(5) さし絵、写真、図表等の内容が適切であり、また、時代の進展に応じる内容上の配慮がされているか。	○	○				
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	○	○				
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○				

II 適当と認めた理由 小学校 [ 家庭 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	各社とも、目標や内容を的確にとらえ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度が育てられるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な内容が、児童の発達段階や生活実態などに応じて、系統的に題材が配列されている。
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(2)	題材の導入に「学習のめあて」を提示し、生活を見返し課題をもち、見通しをもって追究し、学んだことを生活に生かす問題解決的な学習ができる3ステップを展開するなど、題材の構成が工夫されている。(東書) 題材の導入に「学習のめあて」を提示し、「やってみよう」「考えよう」で自分の課題をもち主体的に学習に取り組み、最後に「ふり返ろう 生かそう」で、学んだことを家庭生活に生かせるように題材の構成が工夫されている。(開隆堂)
	(3)	実践的・体験的な学習が適切に配置され、思いや気付きを自分の言葉で書き込む箇所を設けるなど、児童が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮されている。(東書) 実践的・体験的な学習が適切に配置され、「調べよう」「考えよう」で生活をふり返り、児童が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮されている。(開隆堂)
	(4)	各社とも、必要な用具や器具の扱い方などを詳しく解説し、マークやチェック欄を用いて安全で衛生的な取り扱いができるように工夫されている。
	(5)	各題材の内容を関連させた写真や図が効果的に配置され、児童が意欲的に学習できるよう配慮されている。東京書籍は、児童が親近感をもてるように、キャラクターやレポートの記入例などの工夫があり、開隆堂は、マークやキャラクターの使用、つめ見出しの色区別の工夫などがある。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)	発達段階を考慮した児童の実態を丁寧にとらえ、各内容及び他教科、中学校技術・家庭科と関連させながら学習できるように内容が組まれている。
	(2)	意欲をもって学んだことを家庭や地域でも応用・発展でき、生活に結びつけられるよう配慮されている。東京書籍は、「D o ! 活動」「自由研究」が設けられ、開隆堂は、「チャレンジコーナー」が設けられている。
	(3)	生活を見つめ、集団や個で学びながら、知識及び技能を高める学習が配列され、家庭との連携に発展する形で構成されている。
	(4)	家庭生活と関連させて「いつも確かめよう」で基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くように、実践的・体験的な学習を中心に据えて題材が展開されている。(東書) 家庭生活と関連させて基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くように、実践的・体験的な学習を中心に据え、細かいステップで題材が展開されている。(開隆堂)
	(5)	今日的な課題に対応した生活と防災の関わりや伝統文化、キャリア教育、持続可能な社会に関する内容が取り上げられている。
	(6)	「学習のめあて」に対して「ふり返ろう」で具体的に学習の見返しができるようにし、「これだけはできるようになろう」で、学んだ技能が実践に生かせるよう工夫されている。(東書) 「学習のめあて」に対して「ふり返ろう・生かそう」で具体的な観点ごとに学習内容を振り返り、「できたかな」で確かめた技能が実践に生かせるように工夫されている。(開隆堂)
4 全体的な特色	(1)	(1) 見開きページを効果的に使い、学習や実習の流れを図や写真でわかりやすく提示したり、学習内容がイメージしやすいように配慮されている。(実物大の図や児童の記入例を豊富に掲載(東書)「ひと口メモ」や科学的な資料を多数掲載(開隆堂)) (2) 安全・防災・食育・外国語・伝統文化・キャリア教育・他教科との関連・小中関連ユニバーサルデザイン等にも配慮され、工夫された紙面になっている。

教科名	発行者	教科書名
保健	東京書籍株式会社	新しいほけん 3・4 新しい保健 5・6

#### 上記発行者の教科書を選定した理由

全社とも選択基準には達していたが、特に東京書籍株式会社の教科書については、以下の点を中心に高い評価が得られた。

- ① 分量・内容・程度が、児童の心身の発達段階に応じて考慮されている。
- ② 挿絵、写真、図表、配色などが鮮明で学習意欲を喚起するように工夫されている。  
また、本文の書体（UDフォント）が見やすく、さらに文節で改行されているため大変読みやすい。
- ③ 記述欄が充実しており、授業の途中で気づいたことを書き込みながら考えを深めることができる。

よって、東京書籍株式会社の教科書を選定した。

# I 調査表 小学校 [ 保健 ]

採択基準	観 点	出版社					
		東京書籍	大日本図書	文教社	光文書院	学研	
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもらられているか。	◎	◎	◎	◎	◎	
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 分量・内容・程度が児童の心身の発達段階に応じて配慮されているか。  (2) 児童の生活経験や運動経験、興味・関心に応じ、主体的・対話的に課題の解決に向けて学習ができるよう工夫されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	
〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、contres等〕	(3) 実感を伴う理解が図られるよう、体育（運動領域）や生活等への関連について配慮されているか。	◎	○	○	○	◎	
	(4) 用語の解説や記号、計量単位などが適切で、見出しや文章表現が分かりやすく工夫されているか。	◎	◎	○	○	○	
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、さし絵、写真、図表、配色、contres等が鮮明で学習意欲を喚起するように配慮されているか。	◎	○	○	○	○	
	(1) 健康安全に関する事項の系統化がはかられているか。	◎	◎	○	○	◎	
	(2) 健康な生活、体の発育・発達、心の健康等、各内容の配列や関連付けに工夫がみられるか。	◎	○	○	○	◎	
〔基礎的・基本的な知識・技能の習得〕のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(3) 児童が保健の見方・考え方を働きさせながら、主体的に、相互に関わり合いながら活動に取り組めるよう、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなど、多様な指導方法及び学習形態の工夫がされているか。	◎	○	○	○	○	
	(4) 心身の健康や安全について配慮されているか。	○	○	○	○	○	
	(5) さし絵、写真、図表等の内容が適切で正確であるか。	◎	◎	○	○	○	
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	○	○	○	○	
	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○	○	○	

II 適当と認めた理由 小学校 [ 保健 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	・身近な生活の中から学習課題を見つけ、健康についての科学的認識と課題解決能力を身につけられるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	・1時間の中で見通しを持って学習が進められる分量で構成されている。
	(2)	・全体的に字のサイズが大きく、見やすい書体で書かれている。また、文節で改行されているので読みやすい。 ・書き込みのページが適度にあり、学習ノートと兼ねながら使うことができる。
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(3)	・「どのように学ぶのか」が分かりやすく示されており、学習過程の充実を図ることができる。 ・体育や生活等への関連に配慮がなされている。
	(4)	・大きな誌面で、見やすく使いやすい。 ・考えたことを書き込む欄が充実している。また、まとめが記入しやすい。
	(5)	・学習内容に興味関心が持てるように、また、視覚的に理解を深められるように、挿絵や写真、図表などが工夫されている。 ・全体的な色彩がよく、大判のため大変見やすい。 ・文字がUD書体に統一され、学習者も指導者も見やすい視覚的な文字になっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・健康や安全に関わる現代社会の課題を積極的に扱い、指導が充実したものとなるよう、また、学んだ知識を実社会に生かせるよう工夫している。
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(2)	・第5学年では「心の健康」が最初に扱われているので、第4学年「体の発育・発達」とのつながりが考慮されている。 ・全単元にわたって、日常生活と健康の関連付けがされている。
	(3)	・記述内容を整理しまとめることができるようになっており、学習の振り返りをしやすい。 ・多様な学習形態で学習できるよう配慮されている。
	(4)	・運動領域や他教科との関連を図り、がん教育についての記述が充実している。 ・個人差や個性を重視することが位置づけられていて良い。
	(5)	・さし絵や写真、統計的なグラフ等が豊富に使われ、課題解決のために活用できるようになっている。 ・ネットコンテンツにアクセスしやすく、動画などで指導しやすい。
	(6)	・理解できたことや、今後の課題・努力目標などを記述できるようになっており、学習内容がその後に生かしやすくなっている。 ・写真ページが多く、大判のため画像がきれいで大きく、児童が比較しやすいようにレイアウトされている。
4 全体的な特色	(1)	・全体的に大判であるため、見やすく書き込むことも可能である。また、視覚的な配慮がされており、教師も児童も使いやすい。

教科名	発行者	教科書名
英語	東京書籍	New Horizon Elementary English Course 5, 6 Picture Dictionary

### 上記発行者の教科書を選定した理由

- ・小学校外国語科の目標である「コミュニケーションの基礎的な技能」「目的や場面などに応じて伝え合う基礎的な力」「主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を達成するための必要な内容事項がもらっている。
- ・単元のページ構成を統一しており、見通しが持ちやすい。言語活動に取り組むための道筋が明確に示され、基本表現をもとに単語を入れ替えて表現できるよう配慮してある。数単元が終わると、既習の学習事項を使ってさらに自分の表現したいことを考えるようになっており、英語を使った表現活動が無理なくできるよう工夫されている。
- ・身近な話題から始まり、日本のことや世界のこと、国際的な問題へと内容が発展する構成となっている。また、他教科と関連する話題を盛り込んでおり、児童の興味関心を引き出すよう配慮されている。
- ・語いは別冊のPictureDictionaryにまとめられている。児童が主体的に自分の表したいことに合う語を見つけることが期待できる。辞書をひく活動は中学校の英語学習につながる。
- ・各単元の冒頭に単元の目標が明示されており、Check and Stepsでは、単元で書いた作品を数単元まとめて貼付でき、作品を通した自分の頑張りを振り返ることができる。PictureDictionaryには、単元の振り返りができるページが掲載され、目標と評価が一体化となるよう編集されている。

以上の点から、教科の目標への配慮、生徒の学習活動への配慮、学習指導への配慮が適切になされていることから本書を選定した。

I 調査表 小学校 [ 英語 ]

採択基準	観 点	出版社						
		東京書籍	開隆堂	学校図書	三省堂	教育出版	光村図書	啓林館
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもらされているか。	○	○	○	○	○	○	○
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 内容の程度及び各課の分量が、児童の発達段階に応じるよう配慮されており、適切であるか。  (2) 実際に英語を使用して、互いの考え方や気持ちを伝え合うなどの言語活動が展開されるよう、内容構成への配慮がされているか。	○	○	○	○	○	○	○
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(3) 児童の興味や関心、学習意欲を喚起し、主体的・対話的な学習を促す工夫がされているか。	○	○	○	○	○	○	○
	(4) 既習事項を活用しながら、音声による言語活動をはじめ、5領域を関連付けた学習ができるよう配慮されているか。	○	○	○	○	○	○	○
	(5) 全ての児童にとって読みやすさに工夫され、さし絵、写真、図、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、児童の学習意欲を高め、理解や表現を助けるよう配慮されているか。	○	○	○	○	○	○	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 単元の構成や配列が、目標、内容項目に照らして適切であるか。	○	○	○	○	○	○	○
	(2) 言語材料の配列や、相互の関連付けが適切であるか。また、言語活動をする際に、必要に応じて言語材料について理解したり練習したりするための指導が含まれているか。	○	○	○	○	○	○	○
	(3) 児童が主体的に、相互に関わり合いながら取り組めるよう、基本的な言語材料に精選され、習熟の程度に応じた取り扱いができるよう配慮されているか。	○	○	○	○	○	○	○
「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(4) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせて、言語活動を行う際、英語学習が適切にできるよう言語の使用場面や言語の働きについて配慮されているか。	○	○	○	○	○	○	○
	(5) さし絵、写真、図、練習問題、書体等が適切かつ正確であり、単元のねらいや本文との関連が密接であるか。	○	○	○	○	○	○	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	○	○	○	○	○	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	○	○	○	○	○

II 適当と認めた理由 小学校 [ 英語 ]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・各社ともに外国語科の目標である「コミュニケーションの基礎的な技能」「目的や場面などに応じて伝え合う力」「主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を達成するために必要な内容がもらられている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	・単元の流れがWeCanに近く、平易なものから徐々に難易度が上がり、児童に学習の抵抗感が少なくなるよう配慮されている。単元の最後のFunTimeで学習した事項を広げていくことができる。(光村図書)
	(2)	・EnjoyCommunicationでは言語活動に取り組むための道筋が明確に示されており、会話のやりとりが具体的にわかるよう工夫されている。自分の表現したいことは言葉を入れ替えてできるよう配慮されている。数単元学習した後に、既習事項をいかして自分の気持ちを表現できるよう工夫されている。(東京書籍)
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、コントラスト等	(3)	・他教科と関連した内容が単元終末にあり、異文化や自国文化に興味を持てるよう工夫されている。自分や身の回りの話題から始まり、学年が上がると世界の話題や国際的な問題を取り上げ、発達段階にあった内容で関心を引き出すよう配慮されている。(東京書籍) ・言語活動の内容が独創的で、児童の興味関心を引き出し、意欲的に活動できるよう工夫している。(開隆堂) ・単元の途中で導入ページに戻って対話ができるよう配慮され、主体的な学習ができるよう工夫されている。(三省堂)
	(4)	・各社ともに、単元の導入は聞く活動から始まり、話す活動へ移るよう構成され、さらに他領域へと関連づけて学習できるよう配慮されている。
	(5)	・やりとりや発表の進め方などが配置され、自己表現をするために単語を入れ替える場所を明示している。(東京書籍) ・文字の意味を推測させる意図でイラスト等を入れている。(開隆堂) ・やりとりや発表の様子がわかりやすいイラストで表現されている。(教育出版) ・写真が鮮明で人物のイラストは表情が豊かであり、場面を理解する助けになっている。彩度や光度をおさえ、見やすい色調のイラストが多い。(光村図書)

<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p>	<p>(1) 各社とも、目標や内容項目にを満たすよう単元が構成されている。</p>
<p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導まとめと評価</p>	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動に取り組むため、必要な表現を習得できるよう単元が構成されている。書く活動へ無理なくうつっていけるよう工夫されている。(東京書籍)</li> <li>・聞く活動が多く設定され、話す活動と組み合わせることで、言語材料を理解できるよう工夫されている。(三省堂、啓林館)</li> <li>・一文、または一語～数語を書く活動が定期的に入っている。単元のポイントになる表現を意識することができる。(光村図書)</li> </ul>
	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した語いや表現は別冊のPictureDictionaryにまとめられている。場面にあう語を主体的に選ぶことができる。(東京書籍)</li> <li>・ProjectTimeでは既習事項をもとに自由に表現することを促しており、習熟の程度に応じて活動を展開できる。(学校図書)</li> </ul>
	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動に必然性をもたせ、相手意識を持って学習できるよう配慮されている。(東京書籍)</li> <li>・Presentationでは、場面設定が明確で既習事項から表現を選んで活動ができるように工夫されている。活動の進め方が明示され、主体的に進めることができる。(三省堂)</li> </ul>
	<p>(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社とも、単元のねらいや語いの意味を説明するために適切な図版を選んでいる。</li> </ul>
	<p>(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の冒頭に目標が示され、Check Your Stepsでは数単元で取り組んだ作品を振り返ることができる。(東京書籍)</li> <li>・年間を通して振り返りができ、観点が明確である。(開隆堂)</li> <li>・各単元の冒頭に目標が明確に示され、単元の終末には目標に達したかを振り返るようになっている。(学校図書)</li> <li>・各単元の冒頭に単元の目標と下位目標が示され学習の見通しが持てるとともに、単元終末は観点によって振り返りができる。(光村図書)</li> </ul>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊のPictureDictionaryには、言語活動で使う語いや表現がまとめられている。児童の習熟の度合いに応じて取り組めることと、児童が表現したいことを自分で見つけられるよう配慮され、CheckAndStepsでは、既習事項をもとに自分の気持ちや考えを表現できるよう工夫されている。(東京書籍)</li> <li>・単元の構成が全体で統一されており、児童が見通しを持って学習に取り組める。見開き2ページで聞く活動から始まり、スマールステップで習得し、4技能の学習につなげていくことができる。(光村図書)</li> </ul>